

	2018年 11月26日 第800号	JR東海労新幹線関西地方本部 http://www.geocities.jp/jrcu_kansai/ 発行責任者 畑野 浩孝 編集責任者 島津 力
---	--------------------------	---

「命令と服従」の会社・職場づくり反対！ 本人が同意しない一方的な休日出勤反対！

12月の勤務が発表されました。相変わらず運輸所職場では、本人が同意しない（本人の意思を無視した）一方的な休日出勤の指定が繰り返されています。

臨時列車の増発数は「明らかにする考えはない！」＝回答できない！

会社は私たちJR東海労との協議の場で、休日出勤が発生することになった理由を「臨時列車を増発したから」と発言しています。しかしJR東海労からの「何本の臨時列車が増発したのか？」の質問に対しては回答を拒否しています。何故なら、今回の休日出勤の本当の理由が、臨時列車の増発の為でなく年休を発給する為であることがバレてしまうからです。

「体調が悪かったら病院に行け！」「業務命令だから出勤してもらおう！」

とにかく一定の年休を出す為＝休日出勤をさせる＝休日を削減する為に会社は必死になっています。「体調が悪かったら病院に行け」「(休日出勤は)業務として指示(命令)している」「断ることはできない」とまで言い出す始末です。

「休日や休暇を当たり前前に休む権利など認めない！」

要するに「休日(120日)や休暇(20日)を当たり前前に休めるとするな！」「他の会社と比較したらまだいい方だ！」「ガタガタ言わずに黙って言うことをきけ！」ということです。まさに「命令と服従」です。「命令と服従」の行きつく先は、人間性の破壊です。

「命令と服従」で私たちの平和と安全は守れません！

会社は「命令と服従」の職場をつくらうとしています。

会社は本人が同意しない一方的な休日出勤を当たり前前にしようとしています。

私たちは奴隷ではありません！

「運輸所職場で本人が同意しない一方的な休日出勤が行なわれている時、私は運輸所の社員ではなかったので反対の声を上げなかった。」

「ある職場で休日の削減と年休の抑制が行なわれている時、私は自分の職場ではなかったの反対の声を上げなかった。」

「ついに私の職場でも本人が同意しない一方的な〇〇が行なわれたり、休日の削減と年休の抑制が行なわれるようになったので私は反対の声を上げた。」

「しかしその時はもう遅かった。」

仲間みなさん！ そうならないために皆で声を上げていきましょう！

**私たちは「命令と服従」の会社・職場づくりに反対します！
本人が同意しない一方的な休日出勤に反対します！**